

2021

# 夏ボラ新聞

笑顔で会えるその日を願って キラリと光る☆夏ボラ！  
～コロナ禍で 私にもできるボランティア～

— 発 行 者 —

社会福祉法人

新見市社会福祉協議会

新見市社会福祉協議会では、中高生の皆さんに、ボランティアの機会を提供し、地域や福祉に関して理解を深めていただく夏のボランティア体験（夏ボラ）を実施しています。今年度は、ボランティア研修会と、コロナ禍でもできる内容に変更して、街頭募金用社会鍋組み立てと新見産ひのきの積み木づくりのメニューでボランティア活動を実施しました。

ボランティア活動別人数 街頭募金用社会鍋組み立て 12名 / 新見産ひのきの積み木づくり 18名

## 7/10 ボランティア研修会

### “ボランティアの意義”と“山室軍平”について学びました！

福祉やボランティアについて理解を深め、夏ボラのような体験を通し、さまざまな出会いの中から新しい発見や「共に生きていく」ことの意味を考えることで福祉の心が育まれることをお伝えしました。また、新見市出身の偉人である山室軍平について哲多町文化協会の八木会長よりお話を聞きました。



哲多町文化協会 八木会長による講義

山室軍平とは

日本救世軍の創立者であり、代表的大衆伝道者の一人。キリスト教の街頭募金に  
触れて入信し、苦学しながら新島襄を  
慕って同志社に学ぶ。



のうび  
濃尾大震災の時には石井十次と協力し、  
孤児救済に奔走。のちに岡山で高梁協会  
伝道師になり、23歳で日本人初の救世軍士官となった。  
中將まで昇進し、労働者セツルメント、廃娯運動、社会鍋の相互扶  
助募金活動など社会事業の先駆者として尽力した。

### デイサービス利用者へ応援メッセージを送ろう！

高齢者の方々へ笑顔と元気を届けたいという想いから、  
メッセージを送ることにしました。

みなさんが書いてくれた心温まるメッセージは新見市社協  
中央デイサービスセンター、神郷デイサービスセンターへ  
お届けしました！ コロナ禍で人とふれあう機会が少なくな  
る今こそ、こういったつながりが大切と感じます。



## 街頭募金用社会鍋組み立て

社会鍋の歴史や、街頭募金で集まったお金の使い道について学び、  
後日実施する予定の街頭募金で活用する社会鍋やのぼり旗を作成しま  
した。社会鍋の三脚のバランスをとることに悪戦苦闘する姿も見られ  
ましたが、試行錯誤しながら、工夫し、協力して取り組んでいま  
した。のぼり旗には、生徒たちが相談し決めた名称やデザインが用いら  
れ、街頭募金への思いが込められています。



社会鍋とは  
救世軍が年末などに行ってい  
る生活困窮者等のための街頭募  
金において、通行人から慈善募  
金を入れてもらうために  
街頭に設置するもの。  
日本では、1909年に  
山室軍平によって  
始められた。



## 新見産ひのきの積み木づくり

新見木のおもちゃの会は、木育を通じて生涯にわたる心身の健康な育成を  
図ることを目的に活動されており、その一環として、市内の保育所にひのき  
の積み木を寄贈されています。今回の夏ボラでは、藤本代表を講師に、保育  
所へ贈る積み木のやすり掛け作業をしました。作業をするうちに段々と出て  
くる木のいい香りや触り心地、温もりを感じながら、間接的なボランティア  
活動に取り組みました。参加者からは、「ボランティアは、まず自分が楽しむ  
ことが大切！」との言葉を体感したという感想が聞かれました。



## ▶ボランティア研修会を終えて…

### 新見産ひのきの積み木づくり

やすりがけした木のおもちゃを、南認定こども園へお届けしました！



◀いい匂いがするね！  
すべすべで気持ちいい♪  
▶積み木遊び楽しいなあ～  
たくさん遊びたい！



おにいちゃん、  
おねえちゃん、  
積み木をありがとう！



### 街頭募金用社会鍋組み立て

組み立てた社会鍋を使って、街頭募金を実施しました！



たくさんのお客さんが  
募金してくれました。  
総額で【19,830 円】  
集まり、赤い羽根共同  
募金に寄付しました。



▶有志4人がボランティアを  
してくれました！  
暑い中での街頭募金、  
お疲れ様でした！



中高生からの  
メッセージを受けて  
デイサービス利用者  
さんからの返事



デイサービス利用者の方からは、読みながら  
笑顔がこぼれ、喜びの声が聞かれました。  
「え～字が書けんわあ～」と言いながらも、  
うれしそうに返事を書かれていました。



学生さんの笑顔を思い  
出し、皆さんのお言葉  
を大事にして、これか  
らの自分を大切に皆さ  
んに迷惑をかけないよ  
うにがんばります。



みなさん、おたよりた  
くさんありがとうございます。  
暑いですが、  
コロナに負けずに頑張  
っていますので、みな  
さんもがんばってください。



励ましの言葉ありがとう。  
若い人に負けずコロナに  
勝っていきます。  
若い皆様はしっかり頑張っ  
てください。  
笑顔を絶やさず  
若さで若さで。



お手紙ありがとう。  
みんなも元気で、  
勉強がんばってね。

みんなの成長が楽しみです。  
親孝行をして  
ください。



### 編集後記

今年度は「コロナ禍で私にもできるボランティア」をテーマに研修と2つのボランティア体験を実施しました。研修会の参加者募集期間に入るとすぐに申込があり、なんと周知した5日後には定員が埋まりました！みなさんのボランティアへの関心の高さに驚き、とても嬉しく思いました。コロナ禍ということで、例年のような施設を訪問して交流をもつことが難しく、直接触れ合うことはできないけれど、間接的でも自分たちの活動で、その思いが誰かに通じ、誰かのためになるといった内容でのボランティア体験となりました。

「こんな形でのボランティアがあるとは知らなかった。これからも自分にできるボランティアをみつけてやっていきたい。」といった感想も聞かれ、ボランティアを通じて「共に生きていく」ことの意味を感じてくれたように思います。